

とつかハートプランとは

とつかハートプランは、戸塚区で暮らし、学び、働くすべての人が協力しながら進める「戸塚区地域福祉保健計画」の愛称です。

とつかハートプランでは、「誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現」を基本理念として、区民・地域団体・関係機関・事業者の皆様と戸塚区役所、戸塚区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等の協働により、支えあい、助けあえる地域社会の実現を目指します。

平成18年度より第1期計画が始まり、令和8年度から第5期とつかハートプラン（5か年）が始まりました。

地区別計画とは

地区別計画は、「こんなまちにしていきたい」という思いの実現や、地域の特性に応じた課題にきめ細かく対応していくために、連合町内会自治会・地区社会福祉協議会のエリアごとに策定・推進する計画です。地区ごとに住民の皆様が中心となり、各地区の状況に合わせた様々な方法で話し合いを重ね、「目指す地域の姿」、「それに向けた今後5年間の目標や取組」をまとめています。

地区住民・関係機関等が地域連携チーム（戸塚区役所・戸塚区社会福祉協議会・地域ケアプラザ）と連携して、策定・推進にあたります。各地区の取組だけでは解決が難しい課題などについては、区計画での取組を充実させていきます。



お問合せ先

戸塚区役所 福祉保健課 事業企画担当
電話：866-8424 FAX：865-3963
to-tihukuho@city.yokohama.lg.jp

社会福祉法人 横浜市戸塚区社会福祉協議会
電話：866-8434 FAX：862-5890
info@totsukashakyo.com



とつかハートプラン
ホームページ

このリーフレットは、区民の皆様からお預かりした共同募金を活用して作成しています。

第5期とつかハートプラン

戸塚スタイル

「3つのアクション」



3つのアクション×「おもいあい」・「絆にとらわれない」

「おもいあい」と「絆にとらわれない」を
キーワードに、3つのアクションを進めよう



区計画

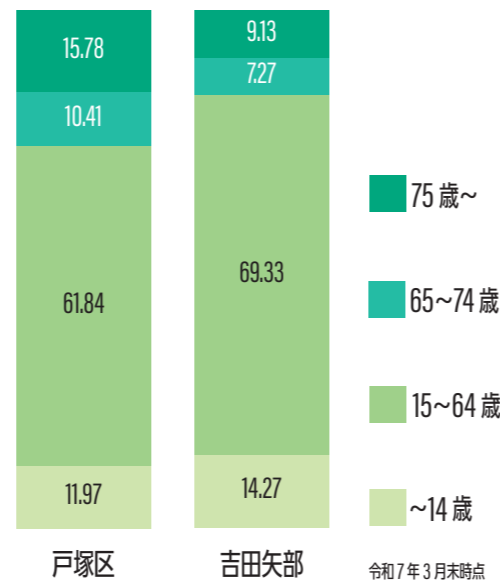
区の特長や
課題に応じた取組
地域活動の
「参考書」



地区別計画

地区の特長や
課題に応じた取組
各地区の歴史や
経緯を反映

地区 data 吉田矢部地区 年齢4区分人口割合(%)



出典：「地区概況シート」（健康福祉局作成）
人口情報は、住民基本台帳の登録人数から算出しています。
データ処理方法の違いから、横浜市統計ポータルの人口情報とは一致しません。

第5期
令和8-12年度

吉田矢部地区ハートプラン

（地域福祉保健計画）



吉田矢部地区プロフィール

吉田矢部地区は、主に吉田町と矢部町の11町内・自治会で構成され、その団体内訳は、4町内会と7自治会となっています。会員数は、約3,550世帯で2017（平成29）年5月に連合会・社会福祉協議会として戸塚第三地区より分離独立し設立8年目を迎えた戸塚18地区区内で一番新しい地区です。北はイオン戸塚店から、南はアピタ戸塚店までの柏尾川沿い両岸に位置しており、東は八幡山一帯までが地区領域で春夏秋冬とも風光明媚で八幡山より富士山を望め、春は桜花が一帯に咲きそろう地域です。地域の特徴は、戸塚駅が近いことマンション群が多数を占め住民構成は、新築マンション増加に伴い現役世代と子どもが多く、更に年々増加傾向です。

自治会・町内会館
マンション等の集会所は除く

福祉施設等

公園MAP

交番 (KOBAN)

- ① 戸塚駅西口交番
- ② 戸塚駅東口交番

- 主な公共施設
- 交流ひろばとつか
- スポーツセンター
- 戸塚共立第1病院
- 戸塚センター (図書館/地区センター/公会堂)
- 戸塚区役所
- フレンズ戸塚

- 主な病院
- 戸塚共立第2病院

- 学校
- 地域防災拠点 (学校)

※令和7年4月1日時点

吉田矢部地区連合会

地域防災拠点 (舞岡中)

地域防災拠点 (東戸塚小)

八幡山桜並木

0 250 500 (m)

笑顔と挨拶で紡ぐ安心のまち 吉田矢部

振り返り 第4期の振り返り

- * 地域の小学校・企業等の協力を得て、子どもから高齢者まで広く一緒になり健民体育祭(10月)、花火大会(11月)等を恒例行事として実施しています。そのほかランニングクリニックやモルック競技等も開催しました。
- * 町内会・自治会の個別行事として桜祭り(4月)、夏祭り(8月)、秋祭り(9月)、餅つき大会(12月)等を催し、町内会・自治会間の往来も盛んです。
- * 趣味の広場・次世代の子どもたちの育成の一助となるよう、地域の小学生を対象とした各種教室・高齢者向け麻雀教室など各町内会・自治会を横断した交流推進。
- * 地域の子どもたちと防犯について学び(研修)、防犯マップや防犯のぼりを製作。
- * 地域での活動アンケートを再度実施し、コロナ後の地区内の活動を把握し第5期計画の策定につなげました。

地域の活動



桜祭り



夏祭り



健民体育祭



モルック

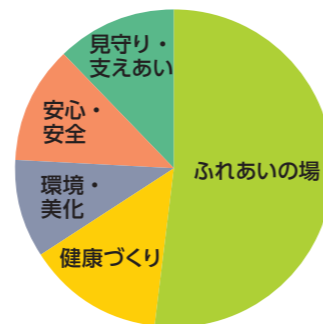
《アンケート集計》

要望と困りごと

- ・災害時の協力体制づくり
- ・高齢者と子どもの見守り
- ・イベントを多くし親睦をはかる
- ・各自治会、町内会の連携行事開催
- ・活動担い手不足と負担軽減策

地域活動の現状

- ふれあいの場 52%
- 健康づくり 14%
- 環境・美化 10%
- 安心・安全 12%
- 見守り・支えあい 12%



第5期の目標



地域課題の解決へ 自分たちで出来る事から始める 私たちのハートプラン (地域福祉保健計画)

支えあいと助けあいのあるまち

- 高齢者への声掛け・見守り
- 子育て世帯が公園など遊んだり、交流できる環境づくり
- IT 活用で人材バンク構築 (情報共有と、経験を生かす)
- NPO やボランティア活動との連携で町内会・自治会の活性化
- IT を活用して高齢者が情報を受け取れるしくみづくり

みんなのふれあう場のあるまち

- イベントカレンダーの作成 (HP 掲載)
- 取組事例と問題解決のヒントの発信 (ホームページ掲載)
- 地域をあげてみんなでまちや柏尾川清掃
- 地域内の施設紹介と連携 (小中学校・保育園・企業・ケアプラザなど)
- 子ども食堂の開催で世代間の交流の場づくり

《地域の子どもの作品》



いつまでも元気で健やかに暮らせるまち

- 健民体育祭・花火大会・モルックなど継続して開催
- 健康づくりの場提供 (健康体操等)
- 趣味を活かして仲間作りと外出の機会の創出
- 様々な人が参加できるスポーツの実施

安心・安全、人にやさしいまち

- 防災用バンダナを各戸で活用
- 街灯や防犯カメラの設置推進
- 災害時の要援護者の掌握
- ハザードマップの活用と紹介
- ドローンを活用し災害情報の共有
- 災害時の炊き出し訓練の実施

5年間の取り組み

- 1年目 恒例行事の推進と計画・運用を地域に広く紹介・アナウンスしていく
- 2年目 アンケートの集計結果を活かし、より具体的な取り組みの明確化
- 3年目 実施内容について協議 (外部機関・企業・内部を巻き込みさらに進展させる)
- 4年目 3年間の成果と最終年へ向け目標を明確にしていく
- 5年目 地区社協とハートプランの認知度をあげて、町内会・自治会での困りごと解決

